

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

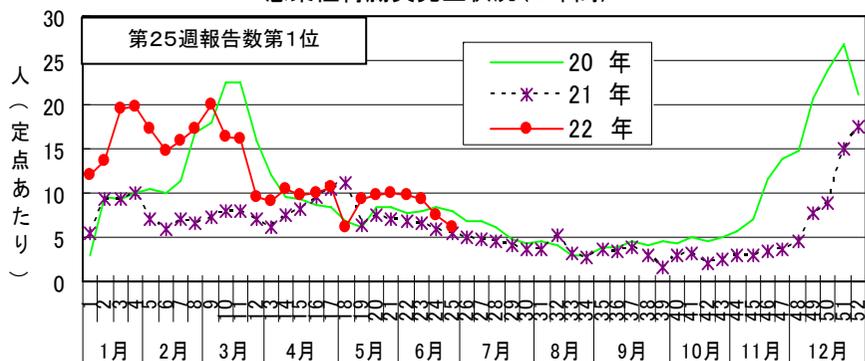
平成22年6月21日（月）～6月27日（日）〔平成22年第25週〕の感染症発生状況

第25週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

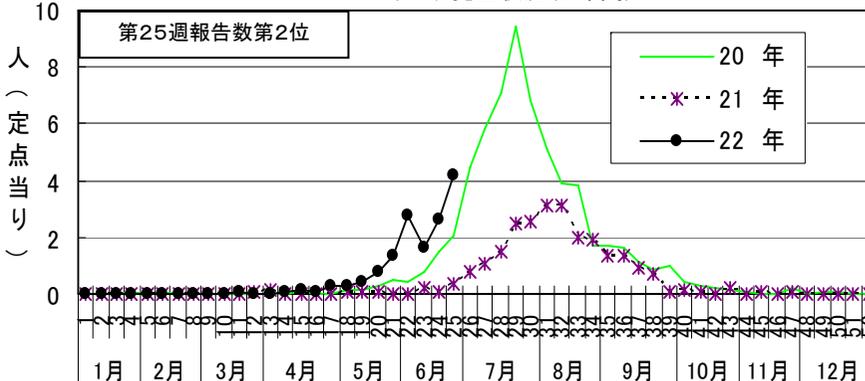
感染性胃腸炎が定点あたり6.15人と前週（7.48人）に比較して患者数は減少しております。

ヘルパンギーナは定点あたり4.21人と前週（2.64人）に比較して患者数は大幅に増加しており、特に宮前区で定点あたり8.80人と警報基準値（定点あたり8人）を超えています。また、ヘルパンギーナと同様に夏かぜの代表疾患である手足口病の患者数も増加しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



『手足口病』あなどるなかれ！！～EV71～



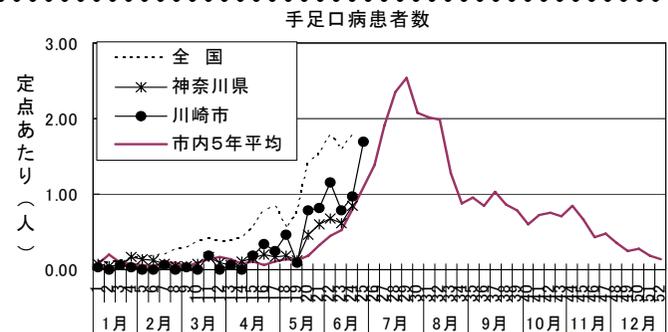
前週にトピックスで取り上げた手足口病の患者数が、今週も大幅に増加しており、例年を上回るペースで増加しています。また、区別では多摩区で報告数が多く、定点あたり3.60人と高いレベルで推移しています。これから夏に向けて患者数が増加することが推測されますが、原因ウイルスの中には、髄膜炎を引き起こしやすいものもあるので、決して手足口病をあなどってはいけません。

手足口病ってどんな病気！？

手足口病は、ウイルス感染によって起こり、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る感染症です。例年、報告数の90%前後を5歳以下の乳幼児が占めています。

病気の原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルスA16、エンテロウイルス71（EV71）で、その他、コクサッキーウイルスA6、A9、A10などが原因になることもあります。

一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。



～エンテロウイルス71(EV71)に注意！！～

ほとんどの発病者は、後遺症などもなく数日間のうちに治ります。しかし、まれではありますが、髄膜炎、脳炎などの中枢神経系の合併症のほか、心筋炎などさまざまな症状が出る場合があります。

特にエンテロウイルス71（EV71）に感染した場合には、他のエンテロウイルスによる場合と比べて、中枢神経系の合併症を引き起こす割合が高いことが明らかになってきています。また、手足口病の典型的な症状がみられずに重症になることもありますので、注意が必要です。

国立感染症研究所によると、2010年第1～20週までの20週間に手足口病の検体は全国で76件検査されており、エンテロウイルス71（EV71）が65.8%（50件）と最も多く検出されています。これは、2004年以降で最も高い割合となっています。

